

逗子市議会議員

さざさか ゆうじ 活動レポート vol.41

～無所属で活動中～



■さざさか ゆうじ(匂坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 51歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）匂坂畳店入社

逗子市商工会青年部長・逗子葉山青年会議所理事長・逗子葉山建設組合青年部長

沼間小PTA会長・逗子中PTA会長・市PTA連絡協議会会長・県PTA執行役員

家族構成：妻と長女(大学生) 次女(高校生) 長男(中学生)

議会職歴：副議長・基地対策特別委員長、予算・決算特別委員長、議会運営委員長

教育民生常任委員長、総務常任委員長 現在 三期目 所属会派 市政クラブ

令和3年第1回定例会報告

第1回定例会が2月22日～3月17日に行われました。今定例会では、令和2年度の一般会計補正予算及び4事業特別会計補正予算が提出され可決されました。また、令和3年度の一般会計予算及び4事業特別会計予算が提出されすべて可決されました。その他の主な議案は、和解について(否決)、逗子市地域活動センターの指定管理者の指定について(否決)、逗子市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について(可決)、押印の見直しに伴う関係条例の整理について(可決)、逗子市事務分掌条例の一部改正について(可決)、逗子市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について(可決)、逗子市介護保険条例の一部改正について(可決)、逗子市指定居宅介護支援等の事業等に関する基準を定める条例等の一部改正について(可決)、教育委員会委員の任命について(可決)、固定資産評価審査委員会委員の選任について(可決)、その他、議員提出議案、陳情、意見書案の審議がされました。

桐ヶ谷市長から令和3年度の施政方針及び予算提案に対して、代表質問を行われました。

※一般会計予算の歳入では、市税収入が減収見込みになっています。これは新型コロナウイルスの影響が起因していると思われます。歳出では、公共施設の老朽化対策、がけ崩れの防止対策等の投資的経費が増加しているほか、社会保障費に充てる扶助費の増加がしています。

一般会計の財源内訳(案)

(単位：千円)

財源別	令和3年度		令和2年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減	伸率
市税	9,024,632	44.3%	9,271,211	48.1%	△246,579	△2.7%
国県支出金	4,698,042	23.0%	4,283,020	22.2%	415,022	16.7%
地方交付税	1,370,000	6.7%	1,307,000	6.8%	63,000	4.8%
繰入金	719,998	3.5%	386,523	2.0%	333,475	86.3%
市債	1,598,000	7.8%	1,020,000	5.3%	131,100	56.7%
その他	2,986,328	14.7%	2,991,246	15.6%	4,918	
合計	20,397,000	100.0%	19,259,000	100.0%	1,138,000	5.9%

安全・安心なまちづくり～令和3年度の重点施策～

1. 財政再建

個人市民税以外にも歳入の柱を作るため、「platform ZUSHI BIZ」などにより、引き続き企業誘致・企業促進を進めます。昨年、始めた逗子らしいワーケーションにも注力して企業誘致を進めます。

2. 子育てしやすいまちづくり

市内民間保育所の待機児童対策として、受け入れ人数の見直しなど弾力的な運用での対応。保育士不足の解消を目的とした補助制度を創設。学校教育については、ICT教育の充実と学校施設の長寿命化計画の策定作業を進めます。

3. 高齢者や障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり

ICTを活用したスポーツの習慣化や栄養状態の改善を図るための介護予防を取組みます。地域共生社会の実現を目指し、重層的支援体制事業を実施します。

既存の公共交通を補完する新たな公共交通の導入についての実証実験を実施します。

4. 災害対策

市有地のがけ地対策としては、令和3年度中に対策済みの予定。緑地は、管理伐採や法面防護工事を実施する。民有地については、防災工事助成制度の積極的な活用を促します。

5. 魅力あふれるまちづくり

JR逗子駅周辺の交通渋滞の解消に向け、調査を実施し、原因の把握と対応策を検討します。

JR東逗子駅前用地の活用については、公共施設の再配置を合わせて検討を進め、令和3年度には一定の方向性を示します。

特別支援学級児童生徒が大幅に増加

特別支援学級児童・生徒数の推移

	H30年	R1年	R2年	R3年
逗子小	14	14	13	21
沼間小	5	9	9	17
久木小	11	14	10	13
小坪小	7	8	7	10
池子小	6	8	8	13
逗子中	5	6	5	15
久木中	7	4	8	15
沼間中	5	7	9	6
計	60	70	69	110

※令和3年度は、特別支援学級児童・生徒数が大幅に増加しています。支援教育の充実を求めています。

脱炭素社会の実現を目指す取組がスタート

逗子市では、2050年までに脱炭素社会の実現を目指し、温室効果ガス排出量の削減のため、「公共施設の電力調達の方針」を策定し、公共施設における使用電力を再生可能エネルギー100%電気に切り替えます。

●対象施設

環境クリーンセンター、浄水管理センター及び新宿中継ポンプ場、逗子市小中学校(7校)

●年間使用電力量

約685万kWh(市施設全体の使用量の約62%)

●削減される年間CO²の量

約3,200t-CO²

●導入電気

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー100%電気

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。